



恒川 NEWS



ごんがいせきぐん 恒川遺跡群93次確認調査を実施中！！

平成29年2月6日から恒川遺跡群薬師垣外地籍にて、93次確認調査を実施しています。恒川遺跡群では昭和52年の国道153号座光寺バイパス建設工事に先立ち行った発掘調査から、現在まで断続的に調査を行っています。



93次調査地点（東から撮影）

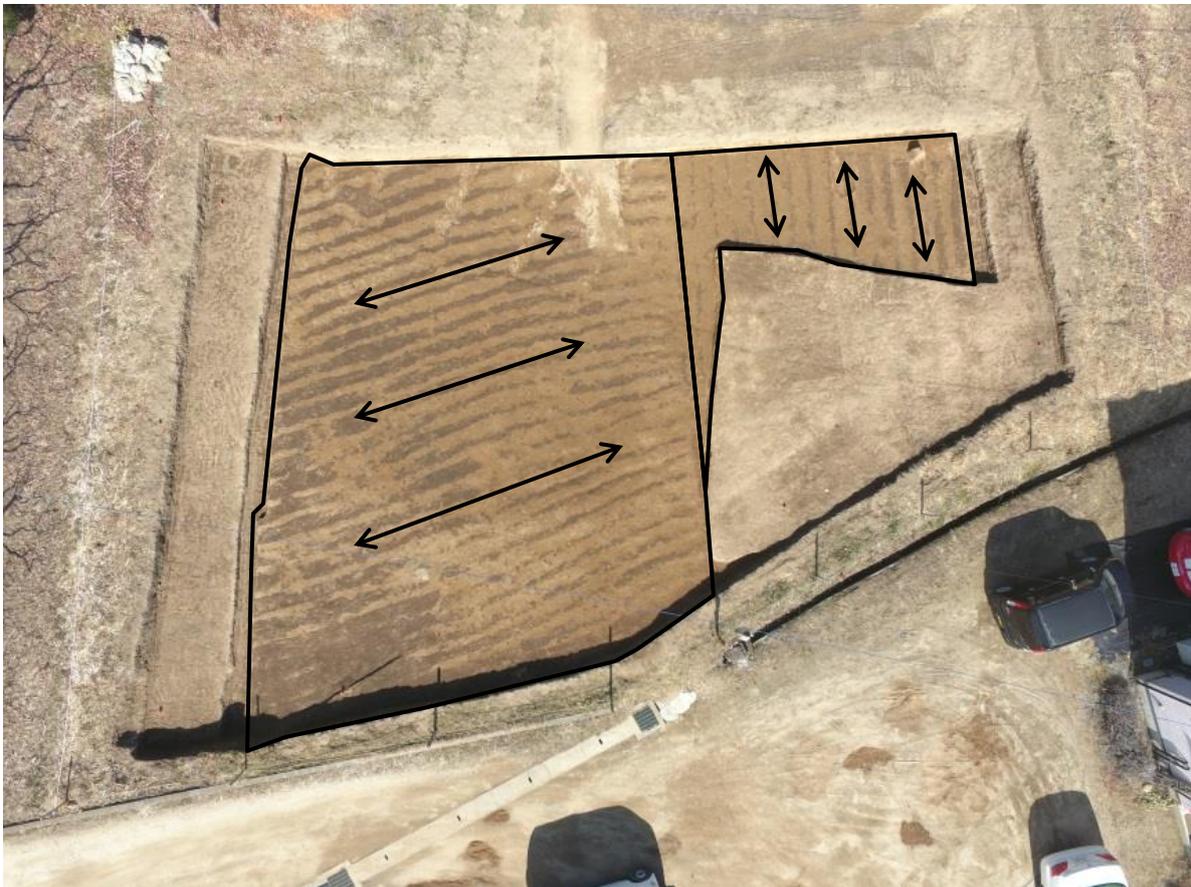
今回の調査地点は、平成8年に行った確認調査地点（33次調査）と一部重複しています。33次調査では正倉院を区画する溝を確認し、その中からは瓦が出土しています。また、そこから東へ40～70m向かった場所では伊那郡衙の倉庫である、正倉建物の掘立柱建物や礎石建物を確認しているため、その延長線上に位置する今回の確認調査地点では正倉建物確認の期待が高まります。





作業員による手掘り作業

慎重な調査が必要とされるため、現代の耕作土を重機で剥いだあとは全て作業員のみなさんの手で1～5cmずつ掘り下げています。現代の耕作土と未満水（正徳5年:1715）による洪水砂を取り除いたところで、今から300年前の江戸時代の畑の畝をみつけました。上から見ると当時の畑がどのような向きで利用されていたかが、よく分かります。



近世の畑の畝（2方向の異なる面が見える）



発掘調査を行うにあたり、近隣の皆様にはご不便およびご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

史跡恒川官衙遺跡調査速報1（通算No.1）

平成29年4月27日発行

発掘担当者：坂井勇雄 福井優希

飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課

文化財活用係

TEL：0265-22-4511（内線：3752）

FAX：0265-22-7969